

- 市民と市長との意見交換会の内容要旨
 令和元年8月29日 香西コミュニティセンター
 テーマ 地域共生社会の実現に向けて

No	御意見等	回答
1	<p>地域の各種団体の代表者は、60歳以上の方がほとんどであり、どの会に行っても同じ顔触れである。</p> <p>できれば市の職員が仕事として運営に参加してくれたらと思う。</p>	<p>同じ人が複数の役職を持っていることは多いと聞く。</p> <p>地域コミュニティ協議会の仕事を、市職員が仕事として行うことはできず、市としては財政面等から支援していきたいと考えている。</p> <p>なお、市職員については「地域担当協働推進員」という形で担当地区ごとに相談に乗れるような体制をとっている。</p>
2	<p>地域の福祉を考える際、民生委員が中心となるが、働いている世代には難しいところもあり、なり手が少ない。</p> <p>その上、個人情報ということで地域の情報がもらえないため、自分の足で歩いて情報を集めている人も少なくない。</p> <p>福祉関係の情報について、せめて民生委員だけでもよいので、開示できないのか。</p>	<p>民生委員や児童委員に提供する情報については、その人のためになるものであるので、（情報提供のルール等）きちんと線引きをした上で、必要な場合は情報を出すよう担当課に伝えてまいりたい。</p>

No	御意見等	回答
3	<p>地域みんなで助け合う、支え合うというが、従事する人は一部の人、特に高齢の方で、若い世代の関心は低い。</p> <p>無関心層に対して、どのような施策を講じているのか。</p> <p>また、紹介のあった地域での助け合いの取組を進めるに当たって自治会の役割は大きいと思うが、加入率が低い状況であり、その加入率を上げるために、どのような施策を講じているのか。</p>	<p>無関心な人をどう取り込んでいくか、また、自治会の加入率を上げていくことについては、コミュニティの再生が必要だと感じているが、難しい問題である。</p> <p>自治会はあくまでも任意組織であり、入会の強制はできないが、自治会に加入したくなるような気持ちにして、様々な地域活動に巻き込むという方法しかないと思う。</p> <p>自治会加入促進は進める一方で、自治会だけに頼るのは限界がきていると感じているので、自治会に頼らない地域活動もすすめなければならない。</p> <p>新たな手法として、学校行事や子どもが参加するイベントを利用して、地域の情報を出しながら若年層を地域活動に巻き込んでいく方法が考えられる。</p> <p>コミュニティを中心に、そういった活動を活発にして、関心の低さの改善、また、自治会加入率の向上につなげていきたい。</p>

テーマ以外で

No	御意見等	回答
1	<p>災害時の避難所として、国分寺南部では国分寺南部小学校が指定されているが、体育館にトイレがなく、外にあるトイレは体育館から遠い。</p> <p>高齢者や車いす等の障がい者にとって、災害時のトイレ問題は重要であり、市の対応策を教えてください。</p>	<p>災害の度合いにもよるが、避難所ではトイレや寝る場所、プライバシー等の問題が大きい。</p> <p>トイレについては災害時には足りないもので、簡易トイレなどを、協定を結んだ企業から物資の提供を受けることなどで、対応策をとっている。</p> <p>さらに、市所有の施設について、今後整備する際には、高齢者や障がい者なども対応できるよう、和式ではなく、洋式（ウォシュレット付き）のトイレを設置するようにしている。</p> <p>いざという時に困らないよう、整備していきたい。</p> <p>さらに、障がい者においては福祉避難所を用意し、そのようなものを組み合わせながら対応していきたい。</p>
2	<p>PTAからの意見として、8月から始まる2学期の簡易給食について、簡易給食後帰宅となると、下校が12:30頃が一番暑い時間帯になる。また、簡易給食であるので、家庭での補食が要求されているが、家庭の事情もあり、色々意見がある。今後も続ける予定なのか。</p>	<p>教育委員会の所管になるが、元々は授業時間の確保（学力定着）と、ゆとりある教育課程を展開するため、2学期を前倒しし、8月末から始業となった。</p> <p>簡易給食については、帰ってからの食事の準備が大変という声もあり、始まった。</p> <p>様々な意見はあるようであるが、教育委員会では今後もこの形で続けていくと聞いているが、品数や量については今後検討していくようである。</p>